



2学期が始まって3週間が過ぎましたが、日中の暑さは容赦なく照り付け夏休み中と変わらない日が続いています。中学校では、例年体育祭の練習を盆明けから開始をしていましたが、暑さ対策をふまえ、体育祭を9月上旬から2週間後に日程を変更しました。それぞれのリーダーが、一日の練習後には、評価できること・改善していくべきこと等を話し合った結果をもとによりよい練習となるよう全体で確認しています。



諸行事を通して将来を展望し未来を拓くために  
充実した学校生活を送ることのできる学園を目指します。



<●学園の経営方針に掲げていること●>

- 児童生徒が自己有用感をもち、意欲をもって学ぶ取組を進める。
- 児童生徒が言葉で伝え合い、共に学び合い、思いやることのできる取組を進める。
- 児童がねばり強く挑戦し、自らの心や体を鍛えることのできる取組を進める。

学校行事で目指すところ

— 指導目標 —

「子どもたちが、集団活動でお互いのよさや可能性を発揮し、  
集団や自分の生活上の課題を解決していく」

- ★全校又は学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら次の資質・能力を育成する。
- \*多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- \*集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成意思決定したりすることができるようにする。

参考 中学校指導要領「特別活動」一部抜粋

小中連携！

9月4日には、小学6年生が中学校の部活動を体験しました。

地域からは、学校運営協議会委員、民生児童委員協議会の皆様にも参観していただきました。



少し緊張気味に教える中学生（1，2年生）と先輩からの話を聴き洩らすことのなきよう傾聴する小学生の姿が見られました。



■小6の部活動体験後の主な感想

- ・中学生になる第一歩としてすごく参考になった。入学後の部活動をどうしていくのか大体のイメージができた。

- ・中学生がたくさん声をかけてくれて、何をするのか、わかりやすかった。

## 保幼小連携

★みんな なかよく あそんだ たのしいひととき。

9月12日、丹後小で2小学校（宇川小・丹後小）の1年生が「交流あそび」を全員でたのしく行うことができました。



事前に何をして遊ぶのか、各校で考えてきました。

（「じゃんけんれっしゃ」と「だるまさんが転んだ」を丹後小が、「王様じゃんけん」を宇川小）あそびの前に、遊び方やルールを児童が堂々と説明し、あそびがスタートしました。わかりやすく説明するには、大きな紙に書いたものをみんなに見せる、遊びやすくするには、目印を用意するとよいことも学びました。



**\*今までに保育所・こども園の交流を重ねてきたことが、小学生になったときに大いに役立ちました。**

## 保護者の皆様、地域の皆様にお知らせ

**<小中一貫校PTA主催 教育講演会>** \*写真は、昨年の講演のもの



**10月4日（金）**夜7時30分から丹後小学校で教育講演会が開催されます。

講師は、昨年もお世話になり好評を博した  
佛光大学副学長 原 清治（はら きよはる）様。

演題は、「自主的に取り組む子どもの育て方」です。

お誘いあわせの上、ご来場いただきますようご案内いたします。



**<第2回丹後町内一斉挨拶運動>** \*写真は、昨年度のもの

**10月15日（火）** 朝 cv

宇川小学校では、児童玄関付近 7:55~

丹後小学校では、児童玄関付近 8:00~

丹後中学校では、校門~職員玄関前 7:55~

丹後こども園では、園児が9時ごろ丹後中へ挨拶に出かけます。

宇川保育所では、園児が10時ごろ平（へい）の住民センター前で道行く人たちに挨拶します。

※最寄りの学校等へお越しいただき、

子どもたちとともに取り組んでいただくとありがたいです。



## 2027年度入学（現在の中学1年生）からの京都府内公立高校入試が一本化！

前期選抜と中期選抜を一本化した選抜入試を2月に実施する方針を固めた京都府、京都市の両教育委員会

「新選抜では、特定の志願者が集まる可能性があることから、志望校を最大3校選択できる現在の中期選抜のような方式を導入するとみられる。後期選抜は残す方針。」と新聞報道がありました。

〔2024年9月18日京都新聞〕

\*京都府の公立高入試は、受験生が自由に志望校を選ぶ「単独選抜」へ2014年より全面移行した。現行制度は10年余りで幕を閉じることになる、また公立高入試の一本化は全国的に広がっているとのこと。